

2019 年度 第 1 回

院内自殺の予防と事後対応のための研修会

(お一人でも参加が可能なコースとして開催します)

2019 年

9 月 28 日(土)～29 日(日)

院内の伝達講習でご活用いただけるように、参加者お一人ずつ、研修会の実習で使用した DVD (3 種類) をお持ち帰りいただきます。

会場／日本医療機能評価機構(JR 水道橋駅 東口下車 2 分)

参加費／認定病院患者安全推進協議会の会員病院 40,000 円 (税込、テキスト・DVD・昼食代込)
上記以外の病院 45,000 円 (税込、テキスト・DVD・昼食代込)

形式／レクチャー、動画視聴、グループ・ワーク(課題抽出、事例検討、ロールプレイ、成果物作成など)

定員／36 名(1 病院につき 1 名のみでも参加が可能で、1 病院何名でも申込可)

受付期間／認定病院患者安全推進協議会の会員病院 2019 年 6 月 18 日 ～ 8 月 29 日
上記以外の病院 2019 年 6 月 25 日 ～ 8 月 29 日

※定員になり次第受付終了。申込方法は裏面をご覧ください。

※6 月 25 日までに協議会会員病院で満席になった場合は、会員以外の病院への募集は行いません。

研修内容と目的／重大医療事故である入院患者の自殺事故の予防と、自殺事故後の対応、そして事故後のスタッフ・ケアについて学んでいただくとともに、自身の所属する病院における具体的なメンタルヘルス対策の実践を可能とする研修です。

対象／参加者の職種・経験は問いませんが、研修会で得た知識とノウハウを病院に持ち帰り、院内で自殺予防・事後対応のプランニングや実務を担当する方のご参加をお待ちします。

※病院の種別(一般・精神・療養)、精神科の有無は問いません

◇特にこのような方にお勧めです◇

- 「患者さんの自殺事故で苦労したことがある」、「がん患者さんの自殺を防ぎたい」
- 「自殺事故を防ぐための具体的な対策や患者さんへの対応について知りたい」
- 「入院患者さんのメンタル・ケアの具体的な方法について知りたい」
- 「医療事故やトラブルに遭遇した医療スタッフのケアや就業支援などの具体策について知りたい」



臨床経験豊富で国内外で活躍する自殺予防対策専門家、医療安全管理学、看護管理学、リエゾン精神医学、サイコオンコロジー、臨床心理学、ソーシャルワークの専門家による充実のセミナーを受講してみませんか！

◇研修参加者の声◇

- 「知識が習得できた」(98%)
 - 「技術が習得できた」(83%)
 - 「事故予防と事後対応に積極的になれた」(91%)
- 参加者の取り組みの実際は、『患者安全推進ジャーナル』No.32 (2013 年 7 月発行) 特集記事をご覧ください。

◇ お問い合わせ先 ◇

公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部 認定病院患者安全推進課 (大鹿、横山)
TEL:03-5217-2326 E-mail:p0031_info_psp_office@jcqhc.or.jp

◇当研修会に関するQ&A◇

Q. なぜこのような研修会が開催されるのですか？

A. 自殺事故は、一般病院、精神科病院における主要な重大医療事故です。しかも、日本人の自殺の数%は病院内で生じています。

Q. 自殺に予防法はあるのですか？

A. 疾病と同様に予防方略があり、また病院特有の対策法があります。

Q. 自殺事故後の対応とは、何を意味するのですか？

A. 事故直後は、あらたな事故が続発する危険性が高まるので、その対応が必要です。

また、担当スタッフや事故に遭遇したスタッフのケアや就業支援を適切に行い、メンタルヘルス不調を予防するとともに、スタッフの力を、患者さんの安全のために注力していく必要があります。

◇研修会のスケジュール◇ 1日目 10:30～18:00 2日目 9:00～17:00

◇レクチャー例

病院内の自殺事故の実態

自殺予防の基本

患者さんにおける危険因子とそのアセスメント

患者さんへの関わり方と危機介入

がん患者と自殺

社会資源の活用方法

事故後の対応

遺族・スタッフの心理とケア

病院内の体制整備



◇動画視聴・グループワーク例

経験のシェア

ホットスポット対策

メンタルヘルス不調への気づき

コミュニケーション法、アサーション

自殺念慮をもつ患者さんへの声掛けと対応

事故後の危機介入手法

事故後に不調を来したスタッフへの対応

自身の病院での対策プランニング

◇予定講師◇

河西 千秋（札幌医科大学 医学部 神経精神医学講座 主任教授、研修プログラム責任者）

大塚 耕太郎（岩手医科大学 神経精神医学講座 主任教授）

大西 秀樹（埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 教授）

小田原 俊成（横浜市立大学 保健管理センター 教授、センター長）

加藤 節子（小田原市立病院 看護部長）

張 賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院 精神科 教授）

野村 裕美（同志社大学 社会学部 社会福祉学科 准教授）

稗田 里香（東海大学 健康科学部 社会福祉学科 准教授）

竜 トシ子（神奈川県看護協会 医療安全・災害医療対策課 課長）

◆◆◆ お申込方法 ◆◆◆

◇認定病院患者安全推進協議会の会員病院の方

当協議会ホームページ(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/>)の「セミナー一覧」画面よりお申し込みください。受付は先着順です。

お申し込みには、ユーザーID とパスワードでのログインが必要です。あらかじめご確認ください。

◇上記以外の認定病院の方

当協議会ホームページ(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/>)よりお申し込みください。

【注意事項】

- 参加確定のお知らせは、申し込み締め切り後の請求書の発送をもってかえさせていただきます。
- グループワーク中心の研修会のため、参加確定後のキャンセルはご遠慮ください。お振り込みいただいた参加費は返金いたしませんので、予めご了承ください。
- 参加者には、患者安全推進ジャーナル別冊「病院内の自殺対策のすすめ方」(2011/1 月発行)を1冊ずつ郵送します。事前に目を通し、当日は必ずご持参ください。